

スローテンポ通信

第 61 号

2022年11月15日

発行:スローテンポ書店

〒323-0023 小山市中央町 3-7-1 ロブレ地階

☎ 0285-32-7211

Eメール usagimokamemo@gmail.com

ブログ『うさぎもかめも』

<http://usagimokamemo.blog.fc2.com/>

◎いま注目の本

○『我らが願いは戦争』

チャン・ガンミョン著 小西直子訳

新泉社 2021年 2500円+税

☆☆☆☆☆

韓国では「統一」が叫ばれ、理想の筋書きが語られる。統一が現実化したら、朝鮮半島にどんな変化が起きるか。この本は、それをリアルに描いた韓国で話題となった小説である。数々の文学賞をさらい、映画化も進められている。

世界中が平和を願っている中で、「戦争を願うなんて?!」と反発を招くことだろう。そんな人たちにこそ、読んでもらいたい。

○『性売買のブラックホール』

シンパク・ジニョン著、金富子監訳

ころから 2022年 2200円+税

☆☆☆☆☆★

韓国では、2004年に「性売買防止法」が制定され、処罰の対象が買春女性から、買う側と斡旋業者へと大きく変わった。「売春」という言葉をなくし、「性売買」となった。この変化によって、被害女性が機密の情報を話すようになった。日本人がこの本から学ぶべきことは多い。

◎ 参加するだけで、本を読みたくなる

本を読まない人の読書会(第5回)

11月26日(土) PM3:00~5:00

今月は『反戦歌 戦争に立ち向かった歌たち』

竹村淳著 アルファベーターブックス

世界の音楽を紹介してきた著者が、世界で歌い継がれた反戦歌を紹介し、歌にまつわる人物や歴史のエピソードを熱く語る。この本は「戦争」をとらえ直させてくれる。

☆ 紹介者が本を紹介し、参加者が自由に話し合います。参加無料、予習不要、出入り自由、発言するしないも自由、とんでも発言歓迎!

昭和デモクラシーを取り戻そう!

米国が民主主義のお手本とは言わなけれど、無関心な人々を注目させる点では学ぶものがあります。熱さが必要なのです。いつも穏やかなこの通信も少しまねして、少しだけ熱く主張を試みようと思います。

日本人は考えなくなりました。

ウクライナで戦争が続いているけれども、日本人には他人事です。生活するだけで忙しく、他人事にまでかまっていられません。自分だけが関心事でゴートゥートラベルなどのオトクキャンペーンがあれば、必死になって追い求めます。なぜ無関心になったのか。

それは、自由にもものが言えなくなったからだ、と考えます。自分なりに考えても、誰も聞いてくれなければ言えなくなり、人は考えなくなります。言えない、無関心、考えないの負のサイクルです。

昭和の終わりにバブルがはじけ、ものづくり大国日本丸が傾き始めました。

復活させるために、自由化や規制緩和が叫ばれました。国鉄や郵政が民営化され、大型店舗の出店規制がなくなりました。

日本社会は変化したけれど、実態は大企業の便宜ばかりが計られ、中小企業や働く者に対しては、むしろ規制と監視が強化されました。

義務教育への介入、君が代、日の丸の強制、大学にも独立採算制が導入され、研究テーマは金儲けにつながるものだけになりました。

自由になったのは大企業やお役所など、元々力のあった者たちだけで、弱者はますます不自由になりました。

救済支援策までが、規則で縛られ、役所の算段で運用は変えられます。もはや、公務員は国民のしもべではなく、国民の管理者になりました。

企業や団体も同じです。力のある者が強引に方針を定め、従わないものは排除されます。サービスは二の次になりました。

電気、ガス、交通、通信、報道、食品流通、書籍流通など、国民生活を左右する重要インフラ業界までも「生き残るためにしかたない」といった理由をつけて、利益追求に走ります。

日本は力のある者が支配する社会となっていました。従順な者には多少のごほうびを与え、反発するものは排除します。そのような社会の変化の中で、少しでもラクに生きたいと願う日本人は、自らものを言わなくなり、自分のこと以外は考えなくなりました。

問いかけると、「どうせ、何をやっても変わらない」という答えが返ってきます。

反省がなければ、忌まわしい歴史はくり返されます。大正デモクラシーの時代は、比較的自由にものが言えました。それが、日本の軍国化と大陸進出によって封じられました。

「昭和デモクラシー」という新語をつくりました。「昭和でも暮らしやすい」ではありません。敗戦から、昭和の終わりまでの比較的自由にものが言えた時代のことをいいます。

日本は日本国憲法を掲げて、曲がりなりにも世界に平和を訴えていました。いずれの国に対しても、戦争には決して加担しない国でした。人々は、戦争についても自由に意見を述べ合いました。

その日本が、自衛隊の海外派遣が強引に合法化された頃から変わりました。

大正デモクラシーも昭和デモクラシーも力によって強引に封じられたのです。

日本人は考えなくなりました。人々はまるで家畜のように、餌だけを追い求めます。飼い主は、喜ぶ餌を用意して家畜を誘導します。家畜は、疑問を抱くことなく満足します。文句を言う家畜は、見えないうちで排除されます。

不満も不自由も感じることなく飼育された家畜は、さんざん働かされ、動けなくなったら処分されます。あるいは、元気なうちに突然、食肉にされます。

日本は、もの言わぬ家畜と、その飼い主の国になってしまったのです。

ではどうすればよいのか。

何よりも気付く必要があります。

自分の知らない見方、考え方に出くわし、「おやっ」と思えば人は考えます。考えれば、もっと知りたくなります。そして自ら話し合いに加わり、さらに本を求めようになります。

世界を知り、日本を知り、冷静に自分を見つめるためには、読書以上のものはありません。(ブログより抜粋)



本好きも本嫌いの

本を再発見する本屋!

スローテンポ書店

小山駅西口 **ロブレ**地階

営業: 火~土 13時~19時

(日月祝日休み)

消毒や換気をして、営業しております。

☆ 懇話会

悩みごとや困りごとの多くは誰にでも共通します。みんなであいっしょに考え意見を交わします。どなたも歓迎!

土曜日(第4土曜日を除く)午後3時~5時、参加無料。

☆ 伝わる文章教室

文章は最も正確で直球の表現手法です。伝えたいことが、伝えたい相手に、きちんと伝わるようお手伝いします。自分を表現することによって人生が変わります。作品集があります。

木曜日 午後3時~5時。